

松平まんじゅうとのコラボレーション企画が新聞に掲載されました！

中日新聞 豊田版

2013年1月12日

2013年(平成25年)1月12日(土曜日)

豊田 18

豊田版



ラッピングデザインした「松平まんじゅう」を販売する生徒＝豊田市の松平交流館で

豊田・松平高で研究発表会

松平高校（豊田市鶴ヶ瀬町）生活情報科の課題研究発表会が十一日、近くの松平交流館であり、三年生がラッピングデザインした「松平まんじゅう」が保護者らに販売された。松平まんじゅうは地元の和菓子店「ふるさと本舗」の主力商品。ラッピングデザインは地域交流を図り、学習の成果を残そうと学校

包みデザイン地域交流

「松平まんじゅう」販売

が持ち掛けた。三年生が考えた三十八の図柄から、竹内一葉さんの作品を選んだ。

デザインは徳川家康の先祖で、ふるさと本舗のシンボルキャラクターの松平親氏を描いた。徳川家の家紋と校章をあしらい、「たべてみりん」と言葉も添えた。

このシールを作り、まんじゅうを包むセロハンに貼って販売。昨秋から、文化祭など限定で扱っており、この日も発表会に訪れた保護者らに生徒が売り込んだ。

伊地知豊教頭は「今後は『あいちゃんフェスタ』などに出品してPRしたい」と話した。（古根村進然）

(この記事・写真は中日新聞社の許諾を得て転載しています)